

患者の皆様へ

2023年8月1日

婦人科

現在、婦人科では、「**子宮筋腫の低酸素濃度培養下における遺伝子発現プロファイリングの解析**」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では過去に別の研究を行う目的で収集した子宮筋腫組織、正常子宮筋組織とそれらの組織を持っていた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「子宮筋腫の低酸素濃度培養下における遺伝子発現プロファイリングの解析」

2. 研究の意義・目的 「手術の時採取した子宮筋腫組織から子宮筋腫細胞を取り出し、できるだけ低酸素で培養し、遺伝子発現パターンを解析することで子宮筋腫に特徴的な遺伝子発現プロファイルを明らかにすることを目的とします。この研究の成果は子宮筋腫の新しい治療法の開発に向けた基礎的な実験データとなります。」

3. 研究の方法 手術で摘出された子宮から子宮筋腫とその周囲の子宮筋を採取します。これらを酵素で消化し子宮筋腫細胞、子宮筋細胞だけを取り出して培養します。低酸素状態で培養を続けたのち RNA を抽出し、遺伝子の発現解析を行います。診療録に記載されている年齢、身長、体重、月経歴、妊娠分娩歴、手術記録に記載されている摘出した子宮の重量、検体を採取した子宮筋腫の大きさとの関連を調べます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院婦人科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院婦人科

医師 甲賀かをり

043（222）7171 内線6894

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。